



# 東実同窓会報 No.30

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL 03-3732-4481

東京実業高校同窓会広報部  
<http://www.tojitsu-dosokai.com>

会長 白田 佳彦 (第42期)

## あいさつ

同窓会会員並びに教職員の皆様方におかれましては、平素より同窓会の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

会長に就任して1期2年の任期が満了となり、昨年6月に開催されました第38回定期総会におきまして会長に再任され、2期目を務めさせていただくことになりました。引き続きご指導とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、平成2年に創刊された本会報誌は、平成の時代と共に歩み、節目の30号を発行する運びとなりました。これもひとえに、本誌に携わってこられた関係者のためまぬ努力と、投稿して下さった皆様並びに広告を掲載いただきました各企業様のご協力とご支援あつてのことと、心より感謝申し上げます。

今年も、402名の後輩達がそれぞれの進路に向けて巣立って行かれ、本会の第94期会員とされますが、くれぐれも健康にご留意され、益々活躍されますことを祈念申し上げますとともに、ぜひ同窓会行事に参加され、近況などをお知らせいただければ幸いです。

最後に、母校の益々のご発展と、会員の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

平成31年1月7日

## 1期目の主な事業報告

1期目の主な事業活動について報告申し上げます。

**(寄付金募集)** 生徒数の減少に伴って会費収入も減少しているため、寄付金を募って運営資金に充当することとし、本誌や本会のホームページに募集要項を掲載して、広く協力をお願いいたしました。

閲覧され、ご賛同くださる方からのご寄付が少しずつ増えて参りました。

**(組織の活性化)** 幅広い年齢層の会員にもっと同窓会活動に参画してもらうため、昨年の定期総会の役員改選に若年層役員を選出し、20歳代2名、30歳代1名、50歳代1名の方が常任幹事に就任され、組織の活性化を図ることが出来ました。

**(事業活動等のマニュアル化)** 同窓会規約の運用、過去の事業活動の実績や慣例、先輩役員からの申し送り事項などをマニュアル化し、曖昧になっていた諸事項の明確化を図り、事務処理の迅速化や各事業部の運営が効率化されました。

## 2期目の主な推進事業

2期目は、1期目の事業を継続しつつ、主に次の事業を推進して参ります。

**(寄付金募集の啓蒙)** 寄付金募集の周知活動を継続的にを行い、協力者・賛同者の拡大を図る。

**(行事参加者の増強)** 積極的に参加されていた先輩会員の方々が高齢化などの事由により、行事参加者が少なくなっているため、新規会員への参加促進を図る。

**(兄弟校との交流)** 兄弟校である東京高等学校同窓会、東北高等学校同窓会との交流を深め、両校との連携協力体制の構築を図る。



東京実業高校同窓会のホームページ

<http://www.tojitsu-dosokai.com/>

# 平成時代最後の会報

理事長 上野 雅子



同窓会会報も今回で 30 号となりました。創刊されたのは平成 2 年とのことで、丁度平成と共に同窓会会報が始まったこととなります。

来年 5 月には、新天皇即位と共に新しい元号に変わりますが、私が理事長職に就いたのも平成元年、思えば突然の就任で、右も左も分らぬままに卒業式を迎え、入学式を迎えたので、頭の中は真っ白のまま、壇上に立つたことをついこの間のように思い出します。当時理事長だった父幸一は、食道ガンの手術を受けながらも自分は 100 歳まで生きると言っていましたので、まだまだ頑張ってもらえると思っていた矢先、母の後を追うように 75 歳の誕生日を迎えることなく旅立っていきました。その 3 週間前に母の葬儀を終えたばかりでしたから、昭和 63 年末は、怒濤のごとく過ぎてゆきました。昭和天皇が 1 月に崩御され、平成元年となり今上天皇が即位されましたが、その年に消費税率 3% が始まり、美空ひばりさんや手塚治虫さんが死去、秋篠宮と紀子様の婚約などいろいろな出来事がありました。

その後の 30 年間もまた、世界中で忌まわしい事件が多発、21 世紀の始まった直後には、大きなテロ事件がお

こり全世界を震撼させました。そして 30 年後の今、また新しい天皇を迎え、元号も新しくなります。消費税率は 10% となり法改正や相続税等も変わってゆき、時代はどんどん変化してゆきます。同窓会もまた、お元氣でご活躍下さった諸先輩の方々が、この 30 年間の内に数多く鬼籍に入られ、淋しくなりました。永らく会長職を続けて下さった村松濱代様、新年会や総会等の行事に常に顔を見せて下さった青木様と仲良しのご友人達、梁川様、吉原様等々、本当に多くの方々が、東実を愛し、力になって下さっていたことを、今更ながら深く感謝申し上げます。現在は若い方々が出席下さり、会長臼田様、前会長の本田様、幹事の方々が、頑張ってお下さり、より以上の強い絆で同窓会が繋がっているように感じます。同窓会の繁栄は、その学校の歴史にも繋がってゆきます。あと 4 年で百周年を迎える東京実業高校にとって、同窓会は心強い味方です。いつもお世話になっております皆様と共に、これからもより良い学校になるよう務めて参りますので、今後とも皆様のご支援、ご鞭撻をお願い致します。

(平成 30 年 12 月 20 日 記)

## 本会報誌について

### ○頒布（配付・送付）

本会報誌は、発行年度の卒業生には直接配付し、卒業されてから 3 年までの会員、同窓会役員、行事出席者、寄稿者及び広告掲載企業様等には、4 月下旬に送付しております。

また、定期総会や新年会開催の際に受付にて希望される方に配付しております。在庫部数に限りがありますが、クラス会・同期会等の開催の際に必要な方は、事務局にご連絡いただければ差し上げますので、ご遠慮なくお申込みください。

### ○写真及び随筆文等の募集

皆様からの在校中の思い出やクラス会・同期会・近況報告などに関する写真や随筆・紀行文などを募集しております。文字数は最大 1100 字までとし、写真の挿入（ただし、1 枚）がある場合は 800 字までとします。

なお、投稿文は編集において編集担当者の判断により、加除させていただくこともありますので、ご了承ください。また、原則として投稿者の顔写真を掲載させていただきますので、ご承諾のうえご提供くださいますようお願いいたします。

願います。ご提供いただいた写真は、使用後返却いたします。

### ○創立 100 周年記念号 投稿記事募集

母校は、2022 年に創立 100 周年を迎えます。

2023 年 3 月に発行する 34 号は記念号として、皆様为学校に在籍していた当時の学校内外で写した写真や投稿記事を集めて発行する予定です。

自由テーマの他、次のテーマで募集しておりますので、奮ってご投稿ください。

テーマ 1 「在校中の思い出」

テーマ 2 「私の歩んだ道」

文字数は最大 1100 字までとし、写真の挿入（ただし、2 枚以内）がある場合は 800 字までとします。なお、投稿文の加除、顔写真の掲載、提供写真の取扱い等については、通常号と同様とさせていただきます。

### ○バックナンバーの閲覧

本誌のバックナンバー（創刊号～本号）は、同窓会ホームページで閲覧できます。是非ご覧になってください。



学校長 知念 義裕

大坂なおみ選手の活躍には目を見張るものがあります。昨年の涙の全米女王に続き、全豪オープン女子シングルスに優勝したことで世界ランキング 1 位に踊り出るという快挙を達成しました。早くも来年のオリンピックでの金メダル獲得が期待されるという、一種の社会現象ともいえるフィーバーぶりです。

1964 年の東京オリンピック・パラリンピックから今年で 55 年が経過、再び東京でオリンピック・パラリンピックが開催される来年には 21 世紀もすでに 5 分の 1 が経っているのだと考えると、まさに光陰矢の如しだと改めて驚きを感じます。ここで 1964 年の日本人の平均寿命を調べてみると、男 67.67 歳、女 72.87 歳とあります。2017 年の平均寿命では男 81.09 歳、女 87.26 歳となっていますので、「人生 100 年時代」と言われてもそれほどの違和感はありません。そして、この 55 年の間に世の中は大きく変化しています。本校でもほとんどの生徒が所有している携帯電話がこの世に出たのが 34 年前の 1985 年のこと。SNS の悪用で校則違反者が出現するなどとは当時は全く予測してはいませんでした。少子高齢化社会、ゆとり教育から脱ゆとり教育へ、グローバル化、コンピューター・インターネットなどの通信技術を活用した ICT 教育、AI (人工知能) の発達、IoT (全てのものがインターネットでつながる社会: Internet of Things) の発展により Society 5.0 (これまでの狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、ビッグデータを活用した新たな超スマート社会) など私たちを取り巻く環境は大きく変化し続けています。国連では持続可能な開発目標 (SDGs) が掲げられ環境問題の克服が今日的な問題であると叫ばれています。高等学校では本校の創立 100 周年に当たる 2022 年に次期学習指導要領の運用が始まります。例えば「歴史総合」という新しい科目で近現代を中心に世界と日本の関わりを学びますし、地球規模で環境問題を考える「地理総合」が新たに登場します。又、18 歳選挙権が実現された今、主権者としての知識や思考力、判断力を「公共」という新科目で学ぶことになっています。工業科で育成を目指す人材像は、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人、となっています。どの教科にも共通している、求められる資質・能力 (人間力) は、①生きて働く「知識・技能の習得」②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」という 3 つの柱に基づいています。そのために主体的・対話的で深い学び (アクティブ・ラーニング) が求められているのです。技術革新で職業観が一変する可能性、高大を接続する大学入試で求められる資質、能力を意識した改定となっています。今後は魅力ある東京実業高校を目指して新指導要領に加え、不易流行の理念を以て地域、世界に貢献できる人材の育成に努力していきたいと思います。

(平成 31 年 1 月 29 日 記)

### 東京実業高校同窓会会員総数

第 93 期 (平成 30 年 3 月) 卒業生まで

( ) 内の数字は女子会員

会員数		総数	商業系	工業系	普通系
		総数	36,563	14,265	17,264
	うち女子	(3,527)	(2,612)	(12)	(903)
昼間部 (同窓会) (大 15~平 30) 93 期	総数	32,337	11,910	15,393	5,034
	うち女子	(3,295)	(2,382)	(10)	(903)
夜間部 (螢窓会) (昭 4~昭 52) 49 回	総数	3,586	2,223	1,363	
	うち女子	(228)	(228)	(0)	
専門学校 (五葉会) (昭 35~昭 48) 14 回	総数	640	132	508	
	うち女子	(4)	(2)	(2)	

第 93 期 卒業生数	商業系	工業系			普通系		
		機械科	電気科		ビジネス	文理	
			電気	IT			
合計	341	0	84	66	37	116	38
男子	306	0	84	66	34	93	29
女子	35	0	0	0	3	23	9

### 定期総会開催のお知らせ

第 39 回 (2019 年) の定期総会を下記の要領で開催いたします。

記

日時：2019 年 6 月 1 日 (土)

15 時~18 時

場所：プラザ・アペア (蒲田駅南口)

総会終了後、会費 3,000 円で懇親会を開催いたします。会費は、卒業後 3 年以内《平成 29 年 3 月卒業 (第 92 期) ~平成 31 年 3 月卒業 (第 94 期)》の会員は、招待となりますので会費は無料です。

クラス会・同期会を兼ねての参加も歓迎しますので、各期卒業のクラス幹事の方々、クラスメートの皆さんをお誘いし、是非ご参加ください。

(総務部)

## 学校の近況報告



副校長 小畑 雅一

平成30年度は、4月に340名の新入生を迎え、全校生徒1120名でスタートしました。以下に、学校の近況をご報告致します。

### ■7年目を迎えた農家民泊体験旅行

都会で生活する生徒たちに、農業体験を通じて自然と直接ふれあう農業のすばらしさや命の大切さを実感し、農業への関心を高めてもらいたい。そのような思いを描き、2、3年生の希望者を対象とした農家民泊体験旅行が2011年5月にスタートしました。実施は、1年生の研修合宿旅行と同じ5月中旬の2泊3日。行き先は、以前よりマーチングバンド部の夏合宿でもお世話になっている長野県下伊那郡阿南町。南アルプスと中央アルプスに挟まれ、太平洋に注ぐ天竜川の右岸に位置するととても静かな山村です。

朝、学校に集合した参加者たちは、バスで中央高速道路を進み、途中昼食休憩などを挟み正午過ぎに阿南町へ到着します。到着後は、すぐに農家の方との対面式に臨み、その後4名前後のグループに分かれ農家の方の車でお世話になる家へ移動します。農家では、その家で育てている作物によって田んぼの整備や畑の畝づくり、そして果樹園の木の剪定など様々な農作業を体験し、夜は近くの温泉施設に連れて行ってもらい入浴した後、皆で準備した夕食を、家のお父さんやお母さんから農村での生活の様子など伺いながらゆっくりと頂きます。

翌日も午前中農作業のお手伝いをしたり、近所へ散歩に連れて行ってもらったりして過ごし、その後全員が再集合し、解散式に臨みます。解散式では1泊と短い時間ですが、お世話になった農家の皆さんと記念写真を撮影し、再会を約して別れを惜しみます。昼食後は、全員で水の張った田んぼに裸足で入り、昔ながらの田植えを体験し、その後阿南町の青少年宿泊施設に1泊し、翌朝天竜川を望む山村でのウォークラリーなどを行った後、バスで帰校します。

参加した生徒たちは、この農家民泊体験旅行を通じ、生命を育てることで命の大切さや農産物にかかる多くの労力や愛情などを実感し、また、食の大切さや感謝する気持ちを学ぶと共に、農家の人々とふれあう生活をする中で、その暮らしや勤労観を感じてくれたことと思います。多い年で50名前後の生徒が参加する、7年目を迎えた農家民泊体験旅行。本校の大切なキャリア教育プログラムの一つです。



農家民泊体験（田植え風景）

### ■部活動の報告

#### ●陸上競技部

昨年11月3日に荒川河川敷コースで開催された全国高校駅伝競走大会東京都予選会において、男子は2位（記録2時間8分58秒）入賞、女子は7位（記録1時間17分20秒）入賞を果たしました。男子は優勝した駒大高に惜しくも39秒及ばず、念願の全国大会出場は逃しましたが、11月18日に埼玉県熊谷市にて開催された関東大会への出場を果たしました。

#### ●男子サッカー部

秋に行われた全国選手権の東京都予選において、1回戦は日大豊山高校に2対1で勝利し、2回戦は昨年度惜敗した関東第一高校に延長0対0でのPK戦を3対2で制し、3回戦に進みました。しかし、3回戦では大成高校に延長1対1でのPK戦で1対3と残念ながら惜敗しました。所属する東京T2リーグでは、11月6日現在8勝5敗2分けで3位につけており、今後の展開によっては、T1リーグ昇格も見えてきます。

#### ●マーチングバンド部

昨年11月に行われた関東大会で見事金賞を受賞し、12月16日埼玉スーパーアリーナでの全国大会に駒を進めました。全国大会では小編成の部で銀賞を獲得し、通算30回目の全国大会入賞を果たしました。

#### ●レスリング部

レスリング部では、田中太陽（ビジネスコース3年）が「福井しあわせ元気国体」のレスリング少年グレコローマンスタイル92kg級に出場し、残念ながら入賞は逃がしましたが健闘し、本校レスリング部の伝統を守りました。

#### ●卓上遊戯研究同好会

昨年11月24日に東京ビックサイトで開催された「東京ゲームマーケット」に初参加し、同会が制作した卓上ゲーム『強制卓配Ⅱ』を出品し、たくさんの来場者から好評を得ました。

### ■教職員の永年勤続表彰及び異動他（敬称略）

#### ●永年勤続者

勤続20年： 福田 文乃(事務)

勤続10年： 舘 信雄(用務)

#### ●教職員の異動

新任教職員： 飯岡 健太(商業) 為田 純兵(数学)

御園 新太(英語) 中尾 啓介(用務)

退職教職員： 花野武男(実習助手) 舘 信雄(用務)

大石咲代子(養護)

## ● 機械科 ●



機械科科长  
村山 隆

今年度の機械科の在籍数は、11月1日現在 266 名で、内訳は 1 年生 65 名 (2 クラス)、2 年生 91 名 (3 クラス)、3 年生 110 名 (3 クラス) となります。

各学年のクラス担任は、次の各先生です。

1 年生	A 組	藤田 稔	(機械)
	B 組	松田 稔	(体育)
2 年生	A 組	村山 隆	(機械)
	B 組	関根 勝	(数学)
	C 組	森 昌芳	(体育)
3 年生	A 組	片山 智裕	(社会)
	B 組	砂本 眞	(機械)
	C 組	村上 信人	(機械)

機械科実習で新たに旋盤 4 台を導入し、技能検定普通旋盤 3 級合格を目指して行きたいと思っています。

将来の進路設計に向けて資格取得にも従来通り力を

入れております。1ton 未満移動式クレーン・玉掛け 53 名合格、小型車両系建設機械特別教育講習 63 名合格し、多くの生徒が挑戦し、取得しております。

今年度も国家試験「第二種電気工事士」に機械科生徒 3 名が合格しました。

3 年生においては、11 月 20 日現在、大学 5 名、短期大学 1 名、専門学校 18 名、就職 34 名の進路が決定しています。

同窓会の益々のご発展と同窓会の皆様のご多幸をお祈りし、機械科の近況報告とさせていただきます。

(平成 30 年 11 月 20 日 記)



新たに導入した旋盤(機械科実習室)

## ● 電気科 ●



電気科科长  
深川 剛

今年度は、電気コース 73 名 (男子のみ)、ゲーム I T コース 32 名 (男子のみ) の計 105 名を新入生として迎えることが出来ました。

現在電気科は、電気コース 190 名、ゲーム I T コース 82 名の合計 272 名の在籍数となり、クラス数も例年同様、各学年電気コース 2 クラス、ゲーム I T コース 1 クラスの計 9 クラス体制となっております。

10 月に行われました体育祭で、例年電気科は「赤組」として参加していましたが、人数のバランスを考え、今年度は、電気科を「赤組」「橙組」の二色に分けて実施しました。全 8 色で競技が行われましたが、「赤組」と「橙組」が同点最下位という結果でした。ここ数年、順位が安定の最下位となりつつある電気科ですが、来年こそは 1 位目指して頑張ってもらいたいと思います。

毎年同窓会報で報告しております、「第二種電気工事士」の合格者ですが、今年度は 28 名の生徒が実技試験に

チャレンジしました。昨年度より実技試験の採点基準が厳しくなり、今年も最後まで不安な状況でしたが、見事 24 名 (電気科 21 名、機械科 3 名) の生徒が合格を果たしてくれました。実技試験合格率は、85.7%となっております。

「第一種電気工事士」も 10 月に筆記試験が行われ、電気科の茂木先生、福島先生指導のもと、過去最高の 13 名 (電気科 11 名、機械科 2 名) が合格し、昨年度筆記合格者 1 名を加えた 14 名が 12 月上旬に行われた実技試験を受験しました。結果、10 名 (電気科 8 名、機械科 2 名) が見事合格しました。

来年度も嬉しい報告が出来ますように電気科一同指導して参りたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

(平成 30 年 11 月 20 日 記)



平成 30 年度 第二種電気工事士試験合格者

## ● 普通科 ●

### ビジネスコース



ビジネスコース科長  
湯尻 英明

現在、普通科ビジネスコースには 428 名の生徒が在籍し、専門性を高め、様々な検定試験（簿記・情報処理・ビジネス文書・社会人常識マナーなど）に挑戦することで個人の能力を向上させています。

ビジネスコースでは、学校行事にも積極的にに関わり、11 月の東実祭では各種競技会を開催しています。

今年度は、次の生徒が優勝しました。

学年	珠算部門	簿記部門	ワープロ部門
1 年	秋山 響	4 名 (※1)	前原 美咲
2 年	葛原 護	大嶋 一輝	川内 大空
3 年	原田 航太	館石 拓弥	平田 画夢野

(※1) 相笠 翔哉、大見 星津子、草野 虹世、榎本 洵

また、今年度も「第 8 回ビジネスフェスタ」を開催し、販売実習・店舗運営を経験し、普段学んだ知識、技術の実践の場としました。この出店には東日本大震災の被災地である東北 3 県と熊本県をクラスごとに担当し、復興支援の一役を担えるように物産品を調べ、販売につなげています。特に 3 年生は仕入・装飾・販売・マーケティング等を考え、1、2 年生はマナーや接客、ポスター制作も行い、東実祭期間の 2 日間でどれだけお客様を引き付けられるか、貴重な経験を積めたいと思います。この経験が将来の進路決定の材料につながることを望んでいます。

(平成 30 年 11 月 20 日 記)



東実祭にて実施した「各種競技会」の様子です。

## 文理コース



文理コース科長  
関根 章道

1976 (昭 51) 年に設置された普通科は、2001 (平 13) 年より普通科文理コースと名称を変更したものの、設置当時から「4 年制大学現役合格」を目標とし、今年度で 42 年目を迎えました。一般社会での大学進学に対する意義は、時代とともに変容しておりますが、その必要性は変わりません。特に、高校生の 50%以上が大学に進学する現代において、本校における文理コースの存在意義はますます高まっています。

さて、文理コースでは、次の三点を重点とし、指導しています。

- (1) 基礎学力の定着。
- (2) 生徒たちのレベルに合った学習の展開。
- (3) 大学進学に向けた実力の向上。

(1)については、毎週月曜の 1 時間目に到達確認テストを 1 学年で実施しています。国語・数学・英語の一週間分の授業の定着度を確認し、合格点に達しているかどうかを把握しています。さらに今年度からは、リクルー

ト社のスタディサプリというシステムを使い、自身で出来なかったポイントをウェブ動画で確認させています。

(2)については、特に数学で習熟度別授業を展開し、生徒のレベルに合った授業で、理解度を高めるようにしています。

(3)では、城南予備校から講師を派遣してもらい、1・2 年生の希望者を対象に土曜講座を実施しています。年間 20 回の土曜日が土曜講座となります。土曜講座のない土曜日には、ベネッセの模試と英検の受験日となりますので、土曜講座を受講している生徒は、学校 6 日制という意識で学習しています。内容は、英語と数学に特化し、90 分授業としました。さらに今年度は、土曜講座を実力診断テスト等、ベネッセ模試での GTZ (学習到達ゾーン) の向上のためと位置付け、通常の授業に加え、模試の振り返り授業も設定しました。

文理コースには、現在 (2018 年 11 月 1 日)、3 学年合わせて 141 名の生徒が在籍しています。12 月の文理コース集会では、知念校長先生による講話、検定取得などの奨励賞授与、そしてセンター・一般入試に挑む 3 年生への壮行会が行われました。

今後も文理コースは、時代の変容に身をゆだねつつ、伝統を継承してまいります。

(平成 30 年 11 月 1 日 記)

## 部活動

### バドミントン部



バドミントン部  
顧問 田中 英明

バドミントン部は1年生16名、2年生9名の合計25名で活動しております。我が部は、昨年まで同好会として地道に活動したことが認められ、今春より部に昇格致しました。部が立ち上がったのは3年前で、当時は部員が3人しかおらず、活動場所も学校から2km離れた大森の区民体育館でした。ランニングで体育館に向かったあと、猛暑(38℃!)の中の活動でした。道具も無く、ただシャトルを打ち合うだけでしたが、楽しく活動していたのを覚えています。唯一経験者であった染谷を中心に、部員と共に全て手探りでスタートでしたが、現在は多くの部員が在籍し、本校の体育館にコートを設置させて頂いております。また、技術コーチによる特別練習などをおこない、モチベーションを高めて日々の練習に励んでおります。



夏合宿(山中湖学寮にて)

活動を通して部員の人間的な成長が見られるのも部活動の醍醐味であります。中でも、年に一度おこなう山中湖学寮の夏合宿では、部員達は四六時中、寝食を共にし、時にはぶつかり合い、また手を取り合って切磋琢磨し、責任感や協調性が育まれます。まだまだ頼りなかった部員が3年になった時、合宿で後輩を引っ張っていく姿を見ると、彼らが卒業後に社会で活躍する姿が目に見えます。

今夏、3年生8名が夏の大会を終えて引退を迎えました。各メンバーとも苦しい試合が続く中、西川一林ペアが都大会ベスト16という結果を残し、高校生としての部活動の幕を下ろしました。その勇姿はきっと後輩達の熱意となり、部活の伝統として受け継がれていくことでしょう。まだ歴史の浅い部活ですが、今後とも顧問、部員一同頑張って参りますので、皆様方の応援の程、宜しくお願い致します。

(平成30年11月28日 記)

## 生徒会



生徒会会長 北村 玲王

今年度、私たち生徒会は1年生4名、2年生12名の計16名で活動しています。昨年よりも生徒会執行部員の人数が多くなったので、活動を行いやすく良い流れになってきていると思います。

今までの生徒会活動を振り返りますと、4月に新入生歓迎会、6月には生徒会役員選挙が行われ、9月には先生と生徒の懇談会を開催、10月には本校の二大行事の一つである体育祭、そして11月には本校のもう一つの行事である東実祭が行われました。今年度の生徒会は、人数が多いということもあり、全ての行事で成功を収めること

が出来ました。また、生徒会執行部員一人ひとりが生徒会内で連携することによって、今までにない絆を築きあげていくことが出来ました。

そして何よりも、生徒会は代々先輩方から受け継がれて来たこの伝統を大切に、過去の先輩方を越えていくように活動していきます。

生徒会は、全生徒や先生方の支援があって成り立っておりますので、どうか今後とも我々生徒会執行部を応援の程、宜しくお願い致します。更に今まで以上に全力を尽くして頑張ります。

(平成30年11月20日 記)



生徒会誌「蒲公英」、「together」の発行も行っています。

# 定期総会報告

## 第2号議案 平成29年度収支決算報告

### 平成29年度 収支決算報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前年度繰越金	3,704,950	3,704,950	事務消耗品費	200,000	244,045
入会金	3,420,000	3,410,000	通信連絡費	139,000	125,758
寄付金	30,000	268,000	ホームページ管理費	170,000	166,082
広告費	70,000	89,406	印刷費	70,000	63,288
総会費	180,000	159,000	会議費	300,000	299,149
旅行会費	320,000	323,856	総会助成費	250,000	319,939
新年会会費	280,000	320,000	総会費	260,000	259,000
東実祭	200,000	214,100	旅行助成費	80,000	95,812
受取利息	50	17	旅行会費	320,000	333,856
雑収入	230,000	307,000	新年会助成金	200,000	101,723
総会	80,000	100,000	新年会会費	430,000	506,000
旅行	0	10,000	東実祭助成費	20,000	56,750
新年会	150,000	186,000	東実祭費	200,000	214,100
慰労会	0	0	会報発行費	580,000	600,622
拡大幹事会	0	10,000	慶弔費	330,000	316,199
その他	0	1,000	卒業記念品費	350,000	334,411
会議会費	65,000	42,000	積立金	300,000	500,000
拡大幹事会	0	0	交通費	20,000	15,000
その他	65,000	42,000	予備費	100,000	52,442
			雑費	1,000	324
			奨学金	500,000	500,000
			次年度繰越金	3,680,000	3,733,829
			普通預金	3,660,000	3,664,018
			現金	20,000	69,811
収入合計	8,500,000	8,838,329	支出合計	8,500,000	8,838,329

### ■積立金等次年度繰越金内訳(別途会計)

金融機関名	前年度残高	増減	利息	本年度残高	備考
定期預金(みずほ)	15,022,822	500,000	1,202	15,524,024	定期預金
定期預金(三菱UFJ)	10,117,258	0	857	10,118,115	定期預金
合計	25,140,080	500,000	2,059	25,642,139	

■定期総会 第38回(平成30年)定期総会は、平成30年6月2日(土)15時より、プラザ・アペアにて開催されました。

議事に先立ち、永眠された方々への黙禱が捧げられ、臼田佳彦会長、知念義裕名誉会長(校長)の挨拶の後、会長が議長となり次の5議案が審議され、いずれも全会一致で原案通り可決承認されました。

- 1号議案 平成29年度事業報告
- 2号議案 平成29年度収支決算報告並びに監査報告
- 3号議案 平成30年度事業計画(案)
- 4号議案 平成30年度収支予算(案)
- 5号議案 任期満了に伴う役員改選(案)

議事終了後、2年生(現3年生)のスカラシップ<sup>※1</sup>の認定授与式が行われ、学業奨学生、資格・技能奨学生、スポーツ・文化奨学生の代表者3名が出席し、知念義裕校長より認定証が授与され、それぞれの受賞者からお礼の言葉があり、全ての式次第が終了し、閉会となりました。

5号議案の役員改選では、常任幹事の小泉耕一郎(37期)・戸田三光(39期)・谷内繁(42期)の3氏が退任し、秋本宏(59期)・長瀬隆史(68期)・羽田克萌(90期)・本荘和音(90期)の4名が選任されました。また、校内幹事の原田忠彦先生(46期)が相談役になり、砂本眞先生(77期)と清水博信先生(80期)の二人が新任されました。

改選後の役員体制は、次頁の「平成30年度同窓会組織図」をご覧ください。



校長・スカラシップ受賞者代表・会長

■懇親会 総会后、学校法人上野塾上野雅子理事長と東京高校同窓会の柴田夏男会長、三枝香容子・松浦みき両副会長をご来賓に迎えて、総勢76名(来賓・学校関係者18名、会員58名)の出席のもとに懇親会が盛大に開催されました。

出席者の最高齢は85歳(26期・1951年卒)、最年少は19歳(93期・2018年卒)の70歳近い年齢差のOB・OGが交流するという同窓会ならではの楽しく有意義な時間を過ごし、最後に全員で校歌を斉唱して閉会となりました。

(※1)スカラシップとは、成績優秀な生徒や、各種資格検定に合格した生徒、スポーツで活躍した生徒等を対象とした母校の奨学金制度です。





定期総会懇親会

○氏名の前の数字は「卒業年度」です。  
○校内幹事は東京実業高校卒業の「現教職員」です。  
○◆印は部会責任者です。

### ➤ 第3号議案 平成30年度事業計画

#### ■総務部（定期総会及び庶務一般に関する事業）

1. 第38回 定期総会並びに懇親会の開催
  - ①定期総会
    - ・日時：平成30年6月2日(土) 15時～
    - ・場所：プラザ・アペア
  - ②懇親会
    - ・定期総会終了後、隣接会場にて開催
    - ・参加費：3,000円

※卒業後3年以内の会員は無料招待
2. 拡大幹事会の開催
  - ・日時：平成30年11月22日(木) 18時～
  - ・場所：プラザ・アペア
  - ・会費：3,000円
3. 庶務一般関係
  - ①会員の名簿の整理及び作成
  - ②会員の同窓会事業への参加促進活動
  - ③卒業記念アルバムの管理
  - ④その他
    - (1)常任幹事会等の開催
    - (2)新幹事との懇親会開催
    - (3)学校行事への出席

#### ■事業部（年間行事等に関する事業）

1. 第35回 懇親旅行の実施
  - ・日時：平成30年9月22日(土)～23日(日)
  - ・場所：伊豆伊東温泉 伊藤園ホテル松川館
  - ・参加費：16,000円(昼食・交通費・宴会費込み)
2. 東実祭への参加
  - ・日時：平成30年11月10日(土)・11日(日)
  - ・催し：同窓会の部屋の設営、校章入りドラ焼き及び綿菓子の販売など

3. 平成31年新年会の開催
  - ・日時：平成31年1月26日(土) 17時30分～
  - ・場所：崎陽軒本店
  - ・会費：8,000円～9,000円

※卒業後3年以内の会員は無料招待

#### ■広報部（会報誌の発行、ホームページの運用管理及び広報活動等に関する事業）

1. 会報誌関係
  - ①東実会報30号の編集及び出版
  - ②頒布(配付・送付)
2. ホームページ関係
  - ①随時更新及び運用管理
  - ②年間行事等の情報提供及び参加者の募集
  - ③会員からの各種変更届等の対応
3. 広報活動
  - ①会報誌の広告掲載企業の募集
  - ②ホームページのバナー広告企業の募集

#### ■会計部（予算・決算及び寄付金等に関する事業）

1. 予算・決算関係
  - ①現預金の出納業務
  - ②当該年度の予算管理及び収支決算書の作成
  - ③次年度予算の集計及び予算書の作成
2. 寄付・協賛・贈呈関係
  - ①卒業生への卒業記念品贈呈
  - ②スカラシップ(奨学金)への寄付
  - ③部活へのお祝い金贈呈
  - ④役員会で承認可決された慶弔金・寄付金等

# 主な行事報告

## 新幹事懇親会

平成30年12月7日(金)11時15分より、校内会議室に於いて、各クラスから2名ずつ選出された平成30年度(第94期)同窓会幹事24名と、知念校長、小畑副校長及び担任の先生方へ出席いただき、同窓会役員との懇親会を開催しました。

白田会長より同窓会活動の紹介と行事への参加協力をお願いなどの挨拶があった後、昨年に続き、第34期機械科卒の喜納淳氏の講演があり、同氏が防衛庁で従事したキャタピラ車両と南極雪上車の研究開発のお話や、自身の体験から後輩に伝えたい思いなどをお話いただきました。講演終了後、幹事の自己紹介があり、幹事の中から代表幹事1名、副代表幹事4名を選出いただきました。選出された幹事及び担任の先生は、下表の同窓会幹事名簿の通りです。なお、限られた時間での講演でしたので、喜納氏に本誌への投稿をお願いし、『先輩から後輩への手紙』と題する記事を執筆していただき、13ページに掲載させていただきましたのでご覧ください。(総務部)



第94期同窓会幹事(2018.12.7)

### 平成30年度(第94期)同窓会幹事名簿

クラス	担任先生	幹事	
機械A	片山 智裕	松岡 俊也	前田 龍斗
機械B	砂本 眞	蔵方 拓哉	◎宮崎 颯真
機械C	村上 信人	天明屋 哲	峯尾 空吾
電気A	國井 昭博	鮫嶋 幹太	薄井 剣士
電気B	宮田 宏輔	波多野利来	三好 海斗
電気ITA	熊谷 曉了	○東川 直樹	○加藤 知樹
普通A	宮地 裕	中村 優人	中島 賢太
普通B	日比野重光	○石井 はな	宮下 望
普通C	田島 恵	茅根 大河	平林 聖菜
普通D	湊田 和良	森 弘喜	中井 和寿
普通E	田中 清江	濱西 勇輔	稲毛 梨乃
普通F	関根 章道	島崎 竜聖	○前川 愛歌

- ・学年主任は、藤吉大介先生です。
- ・◎印は代表幹事、○印は副代表幹事です。

## 東実祭

在校生の二大行事の一つである「東実祭」が、平成30年11月10日(土)・11日(日)の2日間にわたって開催されました。今年のテーマは、生徒一人一人の個性で東実を無限に染まる色でいっぱいにしてほしいという願いが込められた「Paint 東実を染める無限の色」でした。

同窓会は、今年も「同窓会の部屋」に会員が制作した作品の展示、歴代の卒業記念アルバムの公開(デジタル化した年度のアルバムはパソコンでも閲覧可能)、定期総会や新年会で撮影した写真などの展示を行いました。

部屋の来場者は、卒業生や元教職員の方々だけではなく在校生も訪れ、卒業生は自分の卒業アルバムを見て在校当手を懐かしみ、在校生たちは部活の先輩のアルバムを見て懐かしがったりしていました。

また、恒例となった「校章入りドラ焼き」と一昨年からは始めた「綿菓子」の販売を行い、売上金の中から生徒会に3万円を寄付させていただきました。



初日の午後2時から別室にて開催された「旧教職員の会」に白田会長と本田顧問が招かれ出席しました。

出席された先生方の近況をお聞きし、お元気にお過ごしされていることを知り大変嬉しく思いました。



(事業部・広報部)

## 拡大幹事会

拡大幹事会は、同総会と学校相互の情報交換を行い連携協力体制の強化を図ることを目的とて、毎年開催しております。本年度は、平成 30 年 11 月 22 日(木)、18 時より「プラザ・アペア」において、学校関係者(校長・副校長・校内幹事教職員 5 名)と本会役員 20 名合わせて 27 名の出席のもと、開催されました。

会議では、臼田会長と知念名誉会長(校長)の挨拶の後、小畑副会長(副校長)より学校行事や部活動の活躍などについて報告があり、次いで同窓会各部(総務・事業・広報・会計部)の責任者(副会長)より事業活動状況について報告されました。

会議終了後、同会場にて懇親会が開催され、本田顧問の挨拶の後、村山校内幹事長(教諭)に出席教職員(校内幹事教諭・事務長ほか)の紹介と乾杯の音頭をとっていただき、懇親会を開催しました。(総務部)

と、盛大に開催されました。

臼田会長、上野理事長の挨拶に続いて、東京高校同窓会柴田会長よりご祝辞をいただいた後、小畑副校長の乾杯の発声により開宴となりました。

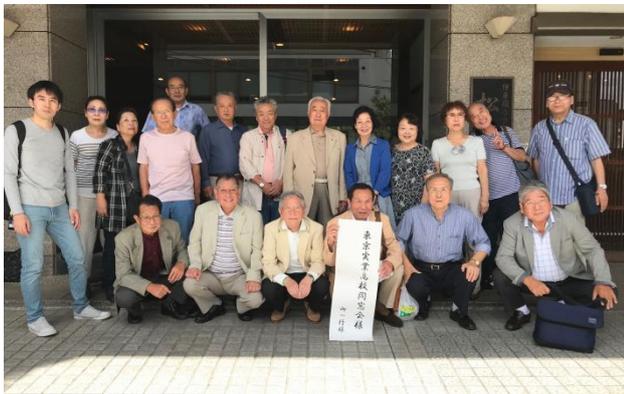
出席者の中には、今年の箱根駅伝往路 2 区を走った越川堅太君(神奈川大学 3 年・第 91 期)、國學院大学陸上部で活躍している稲毛暉斗君(3 年・第 91 期)と藤村遼河君(2 年・第 92 期)の陸上部 OB 3 人が出席され、近況を報告してもらいました。また、元職員(事務)の中野富美子さんの義姉で、世界的に活躍されているシニアランナーの中野陽子さん(※本誌 17 ページに紹介記事を掲載!)にも出席いただき、自己紹介を兼ねて挨拶をしていただきました。

普段は、あまり話す機会がない先生方や先輩後輩の垣根を越えて、和気藹々の懇談が続く中で行われたビンゴゲームやカラオケで盛り上がるなど、大変有意義な楽しい時間を過ごし、最後に全員で校歌を斉唱して閉会となりました。(事業部)

## 第 35 回 懇親旅行

第 35 回の懇親旅行は、平成 30 年 9 月 22 日(土)～23 日(日)にかけて、参加者 21 名にて伊豆伊東温泉の伊東園ホテル松川館を宿に 1 泊 2 日で実施しました。

(本誌 12 ページに常任幹事の箕輪弘数(第 29 期)氏が旅行記を寄稿して下さいましたのでご覧ください)



伊東園ホテル松川館にて

(事業部)



## 寄付者名簿(敬称略・卒期順)

(平成 30 年 2 月 1 日～平成 31 年 1 月 31 日)

No.	卒期	氏名	寄付金
1	第 23 期	小島 浩	50,000 円
2	第 29 期	箕輪 弘数	10,000 円
3	第 34 期	本田 位公子	10,000 円
4	第 34 期	加藤 悦子	10,000 円
5	第 35 期	岡田 清	10,000 円
6	第 37 期	山崎 宏志	5,000 円
7	第 38 期	鈴木 昭彦	10,000 円
8	第 41 期	田口 清	10,000 円
9	第 42 期	臼田 佳彦	10,000 円
10	第 42 期	瀬川 千尋	10,000 円
11	第 45 期	長谷川 敏彦	20,000 円
12	第 45 期	深堀 精一	5,000 円
13	第 64 期	清水 誠三	10,000 円

人数: 13 名、合計金額: 170,000 円

本会相談役の小島浩氏(第 23 期)は、平成 30 年 8 月 30 日にお亡くなりになりましたが、昨年 11 月の東実祭の際に、浩氏の奥様でいらっしゃる洋子様のご子息で東実教諭である小島茂先生とご一緒に同窓会の部屋を訪問され、ご寄付をご持参いただきました。

貴重なご寄付をお寄せくださいました皆様方に厚くお礼申し上げます。皆様からいただいた寄付金は、同窓会や母校のために有意義に活用させていただきます。

会長 臼田 佳彦

## 平成 31 年 新年会



平成 31 年 1 月 26 日(土) 17 時 30 分より、昨年と同じ横浜崎陽軒本店にて、上野理事長、現・元教職員の学校関係者並びに半世紀以上の年齢差のある同窓会ならではの多彩な顔ぶれが集う中、来賓に東京高校同窓会柴田会長、佐藤・松浦両副会長を迎え、総勢 60 名の参加のもの

## 寄稿・投稿欄

## 総会・懇親会に出席して



末永 友昭 (第35期)  
(旧姓 仲谷)

私は、第35期機械科D組卒で、担任は、教員1年目の遠藤幸喜先生でした。先生は、長年にわたって東実野球部監督を務められ、東京都高等学校野球連盟の発展にもご尽力されて、理事を務めておられました。

私は、東実卒業後、専門学校(五葉会)に進みましたが、東実ではバスケット部でしたので、日本鋼管(NKK・現、JFE)に就職し、実業団でバスケットをしていました。

また、卒業してから何年か過ぎて、東実のバスケット部の山脇先生のもとでコーチもしていました。

少し前の話になりますが、私がある中学校のコーチをしていた時にライバル校のコーチが、何と有名な映画007のボンドガール役をしていた女優の浜美枝さんで、そのチームと対戦し、私のチームが勝ち代表になりました。

話は変わりますが、蒲田には深い思い出があり、学校帰りに喫茶店に寄ったり、学校の中でタバコを吸ったりして、いろいろな問題を起こしたことを今でも思い出します。また、その当時の東急蒲田駅の階段は、木造だったと思います。現在の蒲田は街並みも綺麗で商店や飲食店が多く、最近までキャバレーも有りました。

機械科D組のクラス会には良く参加していましたが、私が病気になり先生も病気で、とうとうお会いすることが出来なくなりました。それから、長い月日が過ぎ、私もやっと外に出られるようになりました。丁度同窓会から「第38回定期総会開催」の案内が届きましたので、一度は顔を出そうと思い出席してみました。先輩後輩、みんな楽しくワイワイ飲んで食べて、カラオケまでして久しぶりに楽しい時を過ごさせていただきました。

今、入院中でこの原稿を書いています、是非また退院したら出席し、皆様にお会いしたいと思っています。

皆様もくれぐれもお体に気をつけてお過ごし下さい。またお会いする日を楽しみにしています。

(平成30年10月15日 記)



東京実業高校のホームページ  
<http://www.tojitsu.ed.jp/>

随時更新して学校の最新情報を紹介しておりますので、是非ご覧になってください。

## 第35回懇親旅行記



常任幹事  
箕輪 弘数 (第29期)

第35回懇親旅行は、平成30年9月22日(土)～23日(日)、参加者21名にて伊豆伊東温泉の伊東園ホテル松川館を宿に1泊2日で実施されました。

今年は電車を利用して直接宿に行く人と横浜駅から相乗りバスで行く人に別れました。バス組は湘南の海を眺めながら西湘バイパスの休憩所で昼食、夜の宴会に備えて軽い食事でおにぎりとお茶を頂きました。

宿の松川館は、古風な旅館で露天風呂の前に茶室があり落ち着いてゆったり入ることが出来ました。風呂上がりのビールは格別で五臓六腑に染み渡りました。

宴会は、臼田会長の挨拶で始まり、瀬川副会長の乾杯の音頭で開宴されました。懐石料理をいただきながら酒は飲み放題、先輩後輩の垣根を越え無礼講、終始和やかな雰囲気皆様の楽しそうなお話と笑い声で盛り上がりました。二次会では、カラオケで自慢の声を競いあったりダンスをしたりして、楽しいひと時を過ごさせていただきました、一日目は終わりました。

翌23日は、朝風呂に入り、朝食バイキングを食べ、11時にチェックアウト、伊東の商店街でお土産を買いながらぶらり歩き、駅前のレストランで昼食を食べた後、臼田会長の挨拶で解散となりました。バス組はバスの発車時間まで時間があり、喫茶店に入り昔懐かしいジュークボックスの音楽を聴き、若い時のことを思い出しました。バスは3連休で道路は混雑しており、運転手の機転で高速道路が渋滞していた所は一般道路に降りて、小田原の「鈴廣」に寄って買い物をした後、再び高速道路に入り海老名のSAでトイレ休憩をし、横浜駅に着きました。途中車窓の上空に一日早い黄金色の中秋の月が綺麗に浮かんで見えたのが心に残ります。

今回の懇親旅行は、見学なしでゆっくり酒と温泉を楽しめました。企画した事業部部長の瀬川副会長並びにスタッフの皆様にご心からお礼申し上げます。

(平成30年10月5日 記)



伊東園ホテル松川館にて

## 先輩から後輩への手紙



喜納 淳 (第 34 期 機械科)

かつて、名を馳せた 34 期の卒業生の方々も彼岸の彼方に去り、同窓会にも稀に顔を出す昨今です。縁あってこの度、同窓会報への投稿を依頼され、思う所の 3 つを後輩に伝えたいと思いました。

「その 1」は、「前古人不見 後不見来者 念天地悠々 獨愴然而涕下」<sup>(注1)</sup>、この詩の如く、今、生きている時代に人生の師となる古人<sup>(注2)</sup>を見ること(逢うこと)は無く、また、これからやってくる哲人に逢うことも無く、広い天地と言えども自身が孤独で愴然<sup>(注3)</sup>とした念(思い)を吐露したものです。このことはこれからの人生に於いて、真心が通じ合う友を持つことの重要性を皆さんは知ってほしいと思います。今、このような友を持っている人は、友人に感謝し、知足<sup>(注4)</sup>を大切にし、持っていない人は是非、持って下さい。

「その 2」は、自身の人間的な魅力を養うことです。これは「その 1」を育む方法なのです。人間的な魅力とは何か。それは自身の心の様相を言うのであって、それは心を豊かにする音楽、心の様相を捉えた詩歌、創造性のある絵画や彫刻、自然の美しさへの憧憬、人への思いやり、こう言った感情を理解し感動することが、人間的な魅力を創る源泉なのです。皆さんが、自分自身を創ることに挑戦するなら、歳月と共に、きっと達成されると思います。

「その 3」は、自身がいつも青春であることに留意することです。青春とは青臭いと思いがちですが、その本質は飽くなき挑戦をする心、好奇心、勇気と若さみなぎる行動を青春と言うのです。そして 20 代であろうが、50 代であろうが、青春のこう言う心持が萎えた時に青春が終わり老人の無気力が襲ってくるのです。生きている限り、皆さんは青春であってほしいと思います。かく言う私の人生に於いて、以上の 3 つは体験的なことなのです。

「その 3」の始まり。私は高校卒業前後から登山が全てでした。最初に訪れた試練は「その 3」でした。往時は大学卒と高校卒で職場の格差は明らかで、その格差に挑戦を始めました。夜間大学に通えることの容易な国家公務員を目指しました。試験に挑戦し合格後、防衛庁の車両研究に従事しました。時は南極探検期の最終段階を迎えていて、文部省の要請で昭和基地—南極点往還調査旅行 6500km をオーバホール無しの雪上車開発に従事することになりました。

開発するキャタピラ車両は、驚異的な走行距離で、通常は 2500km 程度でオーバホールする運用です。極点往還は村山雅美隊長で、私は第 9 次南極観測隊参加を要請されました。(実は人質として)南極大陸での最終的な性能試験を経た後、調査旅行は成功裡に終わりました。厳

しい環境でしたが達成感と自信を得ました。

「その 1」の試練は、自立が始まった 30 歳後半に訪れました。研究を進めると知識不足を痛感し、年齢相応に相談する先輩も少なくなり、自身で切り開く他ありません。防衛大学の研究科に合格してからが厳しい月日でした。朝の学内食から夕食、そして、夜半 11 時まで大学での基礎復習に 4 か月、多くの論文や書籍を読むのに 5 か月を費やし、ほぼ 9 か月は自宅に帰る事も出来ませんでした。努力の甲斐あって卒業し、元の研究所に戻りました。その後の研究活動では 21 件の特許を取得し、研究の成果となりました。

「その 2」の試練は、50 代から今日まで続いています。友人のたつての依頼で 50 歳で防衛庁を辞し、民間会社の総合研究所の再建に携わることになりました。研究部長・所長を含め約 10 年で軌道にのり、59 歳で後任に引継ぎ職を辞しました。この頃から、もはや栄達を望むことより、如何に心地よい、豊かな人生に、思いを巡らせるようになりました。

このように人の一生は限られた時間で、ほとんどが自分の心との葛藤と挑戦であり、「How do you life, How do you live」を追求することではないかと思います。

皆さんも自分自身の克己心に挑戦することを、私は希望します。自分の生きざまから学んだことが、後輩の皆さんへのメッセージとなればと思います。

(平成 30 年 12 月 14 日 記)

(注 1) 「前古人不見 後不見来者 念天地悠々 獨愴然而涕下」  
出典…唐の陳子昂(ちんすこう)「幽州の台に登る歌」

前に古人を見ず  
後に来者を見ず  
天地の悠悠たるを念(おもい)  
独り愴(そう)然として涕(なみだ)下(くだ)る

(注 2) 古人(こじん)…昔の人、尊敬の念を持って言うことが多い。

(注 3) 愴然(そうぜん)…痛み悲しむさま。

(注 4) 知足(ちそく)…自分の身の程をわきまえ、むさばらないこと。



開発した南極点調査旅行用大型雪上車

## 川柳(投句)



小泉 耕一郎 (第37期)

「ネット川柳の会」における小泉氏の入選句の中から、40句を掲載させていただきました。

1. 墓参り俺とオヤジは同じ年 (年齢)
2. 幻覚か遠く汽笛が鳴っている (子供のときの夢)
3. 公認のねぐら探して右左 (議員)
4. 釣果なくトンボが竿で羽休め (ボウズ)
5. 政界は出荷の前の選果場 (公認の選別)
6. はしごする昔酒場で今は医者 (変遷)
7. 毒見せず立てた議員で食あたり (ドーピング検査)
8. 目薬の効能書で目の検査 (細かい字)
9. 名月の相伴受けて迎え酒 (理屈不要)
10. 雨だれは心のひだを叩く音 (思い出)
11. 馴染みでもツケがきかない診療費 (現金払)
12. マスコミを鵜呑みにするな骨がある (ガセネタも)
13. やつと寝た赤子を起こす選挙カー (ボリューム)
14. ごみ置き場カラスが曜日知っている (生ごみの日)
15. 渋柿も世間の風で乙な味 (干し柿)
16. 蓑虫が気楽な余生風まかせ (風の吹くまま)
17. 寒くなり油が切れてきしむ腰 (腰痛)
18. 節々が冬の到来告げている (敏感)
19. 風運ぶ紅葉と银杏のランデブー (秋の色)
20. 酒に酔い上り電車が今下り (乗り過ごし)
21. 長雨に修理の利かぬ膝抱え (うずき)
22. 秩父路の祭りの前の厚化粧 (見事な紅葉)
23. 錠剤を整理するのもボケ防止 (薬の多さ)
24. 布団干す夢で描いた世界地図 (おねしょ)
25. 腹八分余りの二分で酒を飲み (別腹)
26. 古傷が冬の到来告げに来る (敏感)
27. 雨上がり心を乾かす空の青 (久しぶり)
28. 生殖器今は単なる泌尿器に (役目)
29. 冬近く人工骨がきしみだす (年中行事)
30. まだ古希か敬老会の年少者 (最下級生)
31. 居心地が悪いか諭吉すぐ家出 (右から左)
32. 孫が言うもう1回は20回 (きりが無い)
33. スマホ買い孫の手ほどき一歩ずつ (わが師)
34. ボケの花待合室で咲き乱れ (高齢化)
35. 枯れ葉落ち秋が剥がれていくように (一枚一枚)
36. こっそりと近づく冬が頬を撫で (実感)
37. わが孫とペアできめてる紙パンツ (お揃い)
38. 勲章と威張った傷が疼きだし (若気の至り)
39. この膝は天気予報の先を見る (敏感)
40. 世渡りが上手くいかずに綱渡り (そんなもの)

## マーチングバンド部発足40周年 記念式典を開催しました

マーチングバンド部 OB会  
会長 井上 雅博 (第61期)

日頃より同窓会の皆様には、マーチングバンド部を応援していただき、大変感謝しております。

我々マーチングバンド部 OB会は、マーチングバンド部(当時は吹奏楽部)の20周年を機に本格的に活動を始めて20余年経ちます。発足当時はOB・OGの懇親が主たる目的でしたが、現在では微力ながら現役部員のサポートが主な活動となっています。しかしながらマーチングは特殊な活動のため、我々OB会だけのサポートではとても心許なく、父母会、そして父母会を卒業された方が中心となり一部一般の方も所属する応援会との3会が協力しながらマーチングバンド部のサポートを行っております。一昨年、マーチングバンド部は40周年を迎えましたが、本年2月にOB会が主となり3会で実行委員会を立ち上げて40周年記念式典を母校の体育館にて執り行いました。準備のために半年ほどの時間を費やしましたが、当日は来賓として理事長先生をはじめ教員の方々・外部の関係者・同窓会の皆様・そして3会の会員と170名近くの方々にお集まり頂き、マーチングバンド部発足当時の笑いあり涙ありの思い出話、現役部員の華麗な演奏演技等、大変盛大な式典を行うことが出来ました。

マーチングバンド部は新たな目標に向かって日々精進しております。今年度は残念ながら全国大会に於いて銀賞でしたが、現役部員たちの頑張りには我々OBは常に頭が下がる思いしております。

同窓会の皆様には今後ともマーチングバンド部の応援をお願いし、ペンを置かせて頂きます。

(平成30年12月17日 記)



40周年記念式典(2018.2.18)

## Phoenix Regiment 定期演奏会



毎年2月中旬から3月上旬に定期演奏会開催しております。  
開催日時・場所等の詳細は、学校に直接電話されご確認ください。  
観覧は無料ですので、是非ご覧になってください。

## 新任役員紹介



羽田 克萌 (第90期)

この度常任幹事に就任しました、第90期卒業生代表幹事の羽田克萌です。

在学中は、電気科ゲーム IT コースでCGやプログラミングを中心に学び、卒業後は東京工科大学に進学し、多人数に対しての有効なコミュニケーション方法について研究しています。また、普通の大学生活だけでなくインターアクトクラブや生徒会で身に付けた企画・リーダーシップ能力を生かしローターアクトクラブという奉仕団体に入会、数名ではありますが社会人を含めたクラブの会長になり、お祭りの手伝いやゴミ拾い等地域に根差した活動から、フィリピンやサイパン等実際に現地に足を運び車イスの修理や寄付をする奉仕活動等普通的大学生活では味わえない様々な経験をしてきました。

現在、大学4年生なので来年4月からは新社会人となりますが、今まで経験してきた事を活かし常任幹事として東京実業高校の文化祭や同窓会の運営などに尽力して行きたいと思えます。



本荘 和音 (第90期)

この度常任幹事に就任しました、第90期幹事の本荘和音です。

在学中は、普通科ビジネスコースに在籍し、社会に出てからどこでも必要とされる会計能力、簿記などを中心に学んできました。また3年間マーチングバンド部に所属し友達と共に日々練習に励み、在学中全国大会で3回金賞を受賞する等本当に充実した高校生活を送っていました。

現在は、かねてより夢でした保育関係の職に就き、在学中に身に付けた会計能力や音楽関係の能力を生かし子供達の面倒を見るなど、忙しくも大変充実した生活を送っております。

在学中に学んだ知識は勿論、卒業後に得た知識を母校である東京実業高等学校に恩返しという形で貢献できるよう常任幹事として頑張っていきたいと思えます。



長瀬 隆史 (第68期)

以前より、同窓会活動へ協力して欲しいとお声を掛けて頂いておりましたが、いよいよ、小畑副校長から直接お電話を頂き、断れずお受けすることになりました。

私は在学中、交換留学生だったこともあり、2年に一度開催されるボルダー会にはほぼ参加していますので、卒業してから26年経ちますが馴染みがあります。ボルダー会に参加できることを良い状態でないと参加できないと思い、人生のバロメーターにしています。びっくりしたのは、1年生の担任でボルダーにも引率して頂いた知念先生が校長先生、生徒会でお世話になった顧問の小畑先生が副校長先生になられていて、時が経つを感じました。先日、幹事会に出席するため東実にお邪魔したら「東実70周年」の記念誌がありました。当時現役3年生の若々しい私が映っています。ということは、もう少しで100周年、まだまだ若いと思っていた私も時代を感じます。東実との出会いは、中学生3年当時の先生に強く奨められました。ヤンチャだった私は先生に叱咤激励をされる日々でしたが、先生に憧れを持つようになりました。先生になるためには？大学に行かないといけない…「お前はここに行け」と言われたのが東実でした。また、入学したら知念先生に挨拶に行けと言われましたが、担任の先生だったので驚きました。早速、知念先生に生徒会への立候補を薦められました。これが私のターニングポイントでした。当時の東実の生徒会は運動部と同じ体育会系のノリ、上下関係も厳しく、東実祭も命懸け、沢山の思い出、経験をさせて頂き、リーダーシップを学びました。本当に楽しかったです。無事に大学に進学しましたが、リーダーシップが行き過ぎて在学中に20歳で当時大好きな自動車の販売業を始めてしまいました。当時は悩みましたが、卒業と同時に就職せずに「株式会社アクティブコレクション」を設立しました。いろいろありましたが24年間続いています。鍛錬旅行(今はこう呼ばないようですが…)で叩き込まれた「不撓不屈」「親和誠実」の精神が、今も私の心に宿っており、商売を続けられていると思います。東実の関係者もお客様で、2、3年の担任であった関根章道先生はよく会社に寄って頂いています。いつも助けて頂くのはご縁のあった方々です。

人生80年としたら折り返し、今では100年とも言われますので折り返し地点の狭間、後の人生どうしようかと考えます。仕事はまだまだ成長させたい。家庭は21歳の大学生と18歳の高校3年生の息子2人、長男はお父さんの後を継ぎたいと言ってくれている。嬉しく思います。まだまだ、働かないと！責任世代の40代、「無理なくていいから…」と小畑副校長先生に言って頂いてはいますが、何とか貢献したい。東実での3年間は私と同じように感謝をしている同年代がいるはず、同窓会に携わってもらえる方を一人ひとり増やしていきたいと思っています。活躍できるかわかりませんが頑張ります。

今後とも宜しくお願い致します。



秋本 宏 (第59期)

常任幹事に就任いたしました第59期の秋元宏です。担任は知念校長先生です。当時は知念先生が初めて担任を持った生徒だったそうで、今でもご記憶いただいているようです。

常任幹事にお誘いいただきましたのは、地元の法人会青年部会で後輩である第70期の深谷君に青年部会OBになったら同窓会へお願いしますとの話がありまして受けさせていただきました。卒業後は家業を継承し、雪が谷大塚駅前にて家族で和菓子店を経営しており、仕込みの都合もあって早朝から仕事をしています。地元でも地域貢献活動や商店街の広報部長などをしており、多忙な日々を送っています。兄も東京実業の卒業生でありまして、教員をしておりましたので永久幹事としておつきあいいただいています。

同窓会へお邪魔すると事務局に同期の女性が居りまして懐かしく再会をいたしました。私も微力ではありますが、地域貢献活動と並行して諸先輩方に恥じぬように同窓会活動をして行きたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。



この喜びをご報告させていただきました。改めましておめでとうございます。

箕輪 弘数 (第29期)

〇市川 達雄 (第41期)



会員通信欄

〇渡邊 正信 (第30期)



第31期卒業の渡邊正信氏は、渡辺商会にて建設業の部「止水防水工事」を経営されております。

この度、横浜市内の企業を経営し、または会社に勤務する従業員を表彰する「優良産業人表彰」において、横浜商工会議所から神奈川県に推薦した方々のうち経営者2名の一人として神奈川県知事ならびに神奈川県商工会議所連合会会頭の連盟により表彰されました。



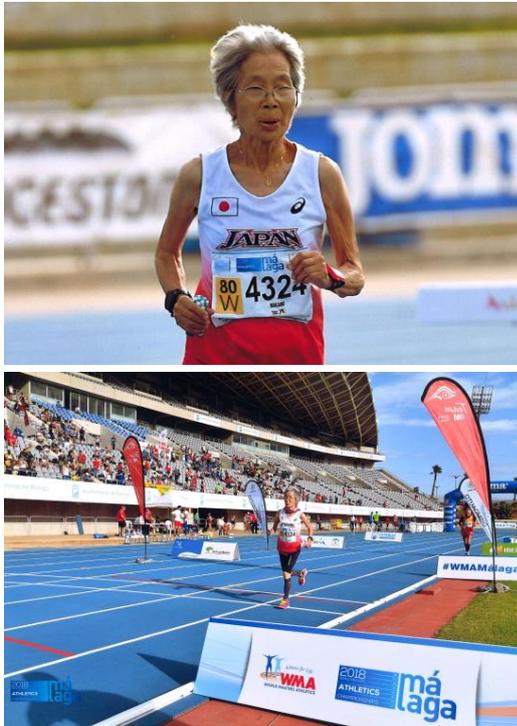
また、彼は一般社団法人横浜南青色申告会磯子支部の支部長としても活躍しておられます。

世界最高記録樹立・世界大会出場！！

第77期(平成14年3月)卒業の風見尚さん(東実→駒澤大学→愛三工業)が、平成30年6月24日(日)に開催された「第33回サロマ湖100キロウルトラマラソン」におきまして、世界新記録となる6時間9分14秒で優勝しました。この記録は、20年前の同大会で砂田貴裕さんがマークした6時間13分33秒を実に4分19秒も更新しました。また、同年9月8日(土)、クロアチア・スベティマーティンで開催された「IAU100km世界選手権」に日本代表として出場し、6時間42分30秒で個人6位入賞しました。なお、日本は男女とも団体優勝しました。

## 世界で活躍！83 歳のランナー

元職員（事務）の中野富美子さんより、義姉でシニアランナーの中野陽子さんが、平成 30 年 12 月 14 日、NHK総合テレビ【ひるまえほっと～関東甲信越～】で放映されたビデオ映像と一緒に紹介文を事務局に持参してくださいましたので、ご紹介します。



中野 陽子（83 歳）

義姉陽子は、76 歳の時にはサロマ湖 100km を完走（12 時間 29 分 20 秒）するなど、これまで国内外 30 回のフルマラソンを完走し、平成 28 年に 80～84 歳の部で、800m、1500m、3000m、5000m、10000m フルマラソンの計 6 個の世界記録を樹立、平成 29 年の東京マラソンでは 4 時間 11 分 45 秒で走り、自己の世界記録を更新しました。

更に平成 30 年 9 月にスペイン・マラガで開かれた 35 歳以上の陸上の世界大会・世界マスターズ陸上に出場し、ハーフマラソンなど金メダルを 4 つ獲得し、女子 800m、5000m では世界記録を更新しました。

普段自宅近くの河川敷で週 4 日、日平均 15 km を無理せず自分のペースで走り、練習のラスト 2m は全力で走っています。走り始めたのは、20 代で始めた“基礎スキー”で準指導員の資格を取得してから本格的に取り組みました。70 歳で引退してから、私たち夫婦と一緒にいったハワイ旅行で、せっかく行くので記念に有名なホノルルマラソンに出たいとエントリーしたのがきっかけでした。半年間コツコツ練習し、本番 1 ヶ月前にハーフマラソンを完走しました。ホノルルマラソンでは、フルマラソン初出場で見事完走し、記録は 4 時間 44 分 44 秒でした。

現在、私と 2 人で暮らし、1 日 3 食私が用意し、お楽しみは毎日の晩酌ですが、1 日 1 杯までとしています。

週末は所属しているクラブでスピード練習や L S D（Long Slow Distance）を行っています。

（平成 30 年 12 月 26 日 中野富美子（元職員））

## 行事開催案内の返信ハガキ備考より

### ■平成 30 年 新年会（1 月 27 日）

お名前	卒期	記 述 文
田宮 惟吉	第 23 期	新年会は欠席します。皆様に宜しくお伝え下さい。
鈴木 正	第 34 期	卒業して 60 年目の新年を迎えます。年齢相応で通院しながら元気に過ごしております。感謝・ありがとうございます。

### ■第 38 回（平成 30 年）定期総会・懇親（6 月 2 日）

原川 清	第 25 期	老齢のため出席出来ませんが、いつも楽しく同窓会報を見ております。今年も部活動の活躍を期待し、応援しています。
鈴木 昭彦	第 38 期	会報ありがとうございます。毎年心待ちに拝読しております。また、いろいろな報道で在校生及び同窓生の活躍の報に接し、誇らしく思っています。
飯塚 守昭	第 38 期 ・野球部	今年も楽しみに夏の都大会を期待しながら、38 期同期生と一緒に観戦に行きます。もう半世紀も過ぎた青春時代を思い出します。
田中 将元	第 38 期	会報ありがとうございます。平成 29 年 11 月にクラス会を行いました。先生は九州と静岡から出席して下さり、18 名が久々に集い蒲田で開きました。 ※計報報告…今年 3 月に斉藤政美が亡くなりました。
山口 和行	第 39 期	東京実業専門学校の先生だった石野康廣氏が昨年 5 月 16 日に 82 歳で逝去されました。石野先生は私にとって恩師であり、卒業後、仕事でもお世話いただきました。6 月 2 日（土）の定期総会は一週忌法要の予定があるため、欠席させていただきます。

### 簡易ハガキでの返信（平成 30 年 5 月 7 日 拝受）

宮島 昭五郎	第 23 期	<p>拝復 このたびは、東実同窓会報をお送りいただき有難うございました。母校及び同窓会の着実な活動を拝見し、嬉しく存じた次第です。殊に、母校では交換留学制度 50 周年となり、記念行事が行われたとのことで、素晴らしいです。</p> <p>母校及び同窓会の発展並びに各位様のご健勝を切にお祈り申し上げます。なお、小生儀、足腰の不具合のため、残念ながら同窓会総会には出席できないことをお許しください。 不—</p>
--------	--------	---

## 物故者

下記の方々が逝去された旨、事務局に連絡がありました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

卒期	氏名	没年	
第15期	吉行 重明		
第17期	黒川 正夫	平成29年	12月
第18期	加藤 裕久	平成29年	4月
第18期	中込 弘	平成30年	1月
第20期	宮尾 昭好		
第20期	末柄 辰雄	平成30年	2月
第22期	鈴木 賢二	平成29年	8月
第25期	本田 修一	平成29年	11月
第26期	横山 清一	平成30年	12月
第29期	村田 三郎	平成30年	1月
第31期	大澤 廣治	平成30年	9月
第32期	永井 等	平成30年	9月
第33期	今井 洋子	平成30年	1月
第34期	岡 健一	平成30年	5月
第35期	石井 武夫	平成25年	
第35期	柴田 政彦	平成27年	
第35期	滝本 義雄	平成29年	9月
第35期	西山 昇	平成29年	11月
第35期	鈴木 直子	平成30年	3月
第35期	竹内 清	平成30年	2月
第35期	磯貝 隆	平成30年	11月
第38期	渋沢 進	平成30年	10月
第38期	斉藤 政美	平成30年	3月
第41期	竹下 昌弘	平成29年	
第41期	小泉 良光	平成27年	9月
第42期	加藤 光利	平成30年	8月
第44期	南 俊和	平成30年	12月
元教諭	石野 康廣	平成29年	5月
第23期 元教諭	小島 浩	平成30年	8月
第43期 元教諭	千田 一雄	平成30年	11月

### ○小島 浩 (第23期)

小島浩氏は、元教諭で退職後本会の常任幹事及び会計監査を務めていただいた後、お亡くなりになるまで相談役として永年にわたって本会の発展に多大なるご尽力を賜りました。

### ○千田 一雄 (第43期)

千田一雄氏は、元教諭で在任中は本会の校内幹事として平成27年3月に退職されるまで、学校と同窓会の交流にお力添えいただくなど多大なる貢献をしていただきました。

### ○南 俊和 (第44期)

南俊和氏は、本会の現任常任幹事で事業部に所属し、今年度の東実祭にもドラ焼き販売を担当していただくなど本会の事業活動にご協力いただきました。

## 個人情報の取り扱いに関する基本方針

東京実業高校同窓会（以下、本会という。）では、同窓会が取得・保有する個人情報の取り扱いに関して、個人情報保護法の趣旨を尊重し、以下の内容で細心の注意を払って取り扱いたします。

### 1. 本会における個人情報の定義

個人情報とは、個人を識別できる情報で、氏名、卒業課程、卒業年・クラス、住所、電話番号、現況（勤務先や学校名）などの他に、同窓会事務局への問い合わせなどの情報を指します。

### 2. 個人情報の利用

収集した個人情報を以下の目的の範囲内で利用いたします。

- 1) 同窓会名簿の整備
- 2) 同窓会報の送付
- 3) 各種行事の開催案内送付
- 4) 総会・本部役員会議等の開催案内送付

### 3. 個人情報に関する機密保持

収集した個人情報については、適正な管理者のもとに適正な管理をすることで、常に個人情報の保護に努めてまいります。

### ② 収集した個人情報は、原則として第三者への提供や開示などいたしません。ただし、以下の場合はこの限りではありません。

- 1) 本人の同意があるとき
- 2) 法令の規定に基づくとき
- 3) 本会業務に必要不可欠であって、本人の権利利益及びプライバシーを侵害するおそれがないことが明らかなきとき

### ③ 個人情報に関する業務を本会外に委託する必要がある場合は、機密保護、安全確保のための契約書等を委託業者との間で取りかわすなど適切な措置を講じます。

### 4. 個人情報保護の継続的改善

社会が要求する個人情報保護が適正に実施されるように必要に応じて継続的に見直し、維持および是正または改善を図ってまいります。

2017年7月12日

個人情報に関する苦情・相談窓口

TEL: 080-1186-8945

Mail: tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp

東京実業高校同窓会 事務局

注) 本基本方針は、2017年7月12日、学校会議室において開催された「正副会長・常任幹事会議」にて可決されました。



個人情報の保護

## 広告主募集

広告掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金(消費税込み)は、縦49mm×横81mmサイズは5,000円、1/2サイズは2,500円です。

各号の締切日は、12月中旬となっておりますので、お申し込みは、事務局に電話またはメールにてお願いいたします。

美しい日本語を大切に

株式会社 佐々木印刷所

☎146-0095

東京都大田区多摩川1丁目18番5号

TEL.03-3758-0710

FAX.03-3758-2821

第56期 佐々木 健

電気通信工事関連事業

(平成26年度川崎市優良業者表彰受賞)

アイ通信工事株式会社

〒211-0037 川崎市中原区井田三舞町17-55

TEL:044(798)3201 FAX:044(798)3203

E-mail: aitsusin@athena.ocn.ne.jp

第41期 取締役会長 市川 達雄

スポーツのことなら!

しろがね

白銀スポーツ

ユニホーム・スポーツ用具  
用品・施設・工事一般  
カップ・賞品・トロフィー

〒143-0024 東京都大田区中央8-29-7

TEL (03) 3754-8679 FAX (03) 3754-4845

第37期 白銀 正明

uno CO.LTD.

ビジュアルプランニングのパートナー  
写真の撮影・編集・印刷・製本まで

有限会社 ウーノ 03-3891-6735

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里6-45-3  
ハイウエストビル6階

不動産の総合コンサルタント

分譲住宅 設計・施工・販売

神奈川県宅地建物取引業協会会員



株式会社セガ・コーポレーション

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町8番12号

TEL:045(582)8000 FAX:045(582)8866

第42期 代表取締役 瀬川 千尋



東京都大田区南馬込5-22-10

TEL (03) 3771-7100 営業時間 17:00~23:00

携帯 (080) 5375-8552 月曜定休 (祝日の場合営業)

一企画・デザイン・印刷全般一

トータルプラン株式会社

〒144-0032 東京都大田区北糀谷1-18-14

TEL(03)5736-3447 FAX(03)5736-3448

E-mail: total@wing.ocn.ne.jp

第38期 川邊 國造

ITソリューションサービス



株式会社 KHJサービス

http://www.khjs.co.jp/

〒231-0023 横浜市中区山下町224番地1

山下町Kビル7階

TEL:045(226)3006 FAX:045(226)3007

第42期 相談役 白田 佳彦

パソコン・一般家電 修理・販売  
お気軽にご相談下さい



有限会社 深谷電器

〒145-0073 東京都大田区北嶺町 29-16

(御嶽山商店街内)

電話:03(3728)1446

E-mail: NQF15990@nifty.com

第70期 代表取締役 深谷和弘

## 事務局だより

### ☑ 主な同窓会行事と参加のお願い

●新年会	1月(最終土曜日)
●定期総会	6月(第1土曜日)
●懇親旅行	9月下旬～10月中旬
●東実祭	11月(中旬の土・日曜日)

同窓会の行事は、毎年上記の時期に開催予定となっております。詳細につきましては、ホームページで随時お知らせしておりますので、閲覧いただくか事務局にお問い合わせください。なお、参加申込みは、電話、メールいずれでも構いません。会員（東京実業高等学校の同窓生・元教職員）の方であればどなたでも参加出来ますので、先輩・同期・後輩の方にご連絡いただき、お誘い合わせて是非ご参加ください。

### ☑ 卒業記念アルバム貸与・贈呈のお願い

同窓会では、歴代の卒業記念アルバムを所蔵し、東実祭開催の際に展示して来場者に公開しております。

所蔵アルバムは、保管場所（部屋）の変更などの事由により残念ながら欠損年度（下表の年度）があります。

いろいろな機会を通して会員の皆様をお願いして収集して参りましたが、個人的にも大切な思い出の品であり、揃えることが出来ません。皆様方の中に貸与または贈呈して下さる方がおられましたら、是非ご協力くださいようお願い申し上げます。貸与の場合はコピー後、速やかにお返しいたします。

欠損年度（卒期）	
2014年3月卒業（89期）	1986年3月卒業（61期）
1993年3月卒業（68期）	1981年3月卒業（56期）
1987年3月卒業（62期）	

※昨年の5月、1978年3月卒業(53期)のアルバムを同年卒業の西山和男氏より貸与していただき、複写版を作成しました。ありがとうございました。

### ☑ 同窓会名の電話に“ご注意”

近年、同窓会関係者を騙った名簿業者から、名簿発行に伴う情報提供の依頼や購入案内が会員に届くなど、同窓会名簿を悪用した詐欺も多くなっておりますので、“ご注意”してください。本会では、電話による寄付の要請や個人情報に関する問い合わせは一切行っていません。家族の方にも周知されて直ぐに対応しないようにしてください。また、同窓会名でこのような電話がありましたら、必ず事務局または学校にご連絡し、ご確認ください。

### ☑ ホームページにバナー広告を掲載しませんか！

同窓会ホームページにバナー広告の掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金は1年間20,000円(消費税込み)です。詳細につきましては、ホームページの「広告バナー掲載について」の募集要項をご覧ください。随時受け付けておりますので、ホームページの「お問い合わせメール」または事務局に直接電話でお申し込みください。

### ☑ 常任幹事を募集しています

同窓会では、一緒に活動して下さる常任幹事を募集しています。主な仕事は、年5回ほど平日の夜に開催される役員会議に出席していただき、同窓会行事等の打合せや諸行事へ積極的に参加していただくことなどです。

同窓会の輪を広げるためにも皆様のご協力をお願いいたします。ご協力いただける方は、事務局へ電話・メール等でご一報ください。

## 編集後記

本会報誌の発行に際し、ご寄稿をくださいました皆様方には、大変お忙しいところ、ご執筆して頂き誠に有難うございました。また、広告掲載にご協力くださいました企業様には、厚く御礼申し上げます。

本号は、節目の30号ということで、通号の16ページを20ページに増やして発行いたしました。

次号の31号からは、新元号のもとでの発刊となりますが、より充実した内容で皆様のご要望とご期待にお応えして参る所存です。引き続きご指導とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、第38回（平成30年）定期総会の役員改選に伴い、広報部員は次表の通り異動がありました。

再任	箕輪 弘数(29期)、川邊 國造(38期)、神野 行雄(42期)、名取 正人(69期)、高山 俊一(76期)
新任	長瀬 隆史(68期)、深谷 和弘(70期)
退任	戸田 三光(39期)

広報部責任者 川邊 國造



東実同窓会報 No. 30

広報部

責任者	川邊 國造(副会長)		
部員	箕輪 弘数(常任幹事)	名取 正人(常任幹事)	
	神野 行雄(常任幹事)	深谷 和弘(常任幹事)	
	長瀬 隆史(常任幹事)	高山 俊一(常任幹事)	
発行日	平成31年3月1日		
編集	東実同窓会報 広報部		
発行	東京実業高校同窓会		
事務局	〒144-0051 東京都大田区西蒲田 8-18-1 TEL : 03-3732-4481 FAX : 03-3732-4456		} 学校内
	[ホームページ] URL : <a href="http://www.tojitsu-dosokai.com/">http://www.tojitsu-dosokai.com/</a> Mail : <a href="mailto:info@tojitsu-dosokai.com">info@tojitsu-dosokai.com</a>		
	m-phone : 080-1186-8945		
	e-Mail <a href="mailto:tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp">tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp</a>		
発行人	臼田 佳彦(会長)		
編集人	川邊 國造(副会長)		
協力	小畑 雅一(副校長)	本田位公子(顧問)	
	小野 博司(教諭)	米倉 美鈴(事務局)	
制作	トータルプラン株式会社		